



明治大学校友会

MEIJI UNIVERSITY

福岡市地域支部だより

明治大学校友会福岡市地域支部事務局

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通4-1-2

セントラルホテルフクオカ内

TEL 092-712-1212

# 風のふくおか



30号

2012年8月



三栄印刷株式会社 所蔵 ©Yamamoto Family

国内初の世界記憶遺産に登録された炭鉱記録絵師・山本作兵衛さんの作品群。その作兵衛さんの晩年の作品が福岡市地域支部の矢谷学幹事長の勤務先に展示されている。矢谷幹事長が麻生セメント勤務時代に社内報のインタビューで作兵衛宅を訪れた際、譲り受けたものだという。興味のある校友はご一見を。

## 福岡市地域支部幹事会レポート

### 支部長交代が発議され、承認される

福岡市地域支部は6月22日、福岡市のセントラルホテルフクオカで幹事会を開催した。

冒頭のあいさつの中で小川弘毅支部長が体調不良による辞意を表明。同席した松本優三副支部長が以前よりこの件については小川支部長より相談を受けていたとのことで補足説明を行い、新支部長として矢谷学幹事長を推挙。これまでの校友会活動でのさまざまな実績から適任であるとの考えを示した。出席した幹事の中からも矢谷幹事長支部長就任を推す声



新支部長に内定した  
矢谷学幹事長  
(S50法卒)

が上がり、矢谷幹事長もこれを了承。新支部長に内定した。

続いて、議題へ。平成23年度会計報告では善敏治幹事が収入・支出ともに3,992,325円だったことを会計報告。塩崎正臣監査が監査結果の報告を行った。平成24年度予算案は善幹事が収入・支出ともに4,041,348円で例年並みの予算を見込んでいることを報告した。

福岡市地域支部総会については9月29日にセントラルホテルフクオカで開催することが確認された。また、土井経世校友の会計幹事選任、支部だより編集委員長交代、佐々木義宣幹事の県支部監査役就任が報告され、マンドリン演奏会やその他各種行事の報告や案内など、8議題が順次、承認された。

### 支部長退任のご挨拶

日頃より、明治大学ならびに明治大学校友会に対し、ご支援、ご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。この度、私は、本年9月に開催される福岡市地域支部総会において、支部長を退任することといたしました。平成22年5月の支部総会で、ご出席会員皆さまの総意により福岡市地域支部長の職務を古賀前支部長より引き継がせていただき、以来会員各位のご支援により大過なくその任を果たせましたことに、心より感謝申し上げます。

支部長在任中には、明治大学が創立130周年という節目を迎えたこと、大学一般入試志願者数が初の日本一となったことなど、母校の輝かしい活躍を皆さまとともに誇りに思えたことは、この上ない喜びでありました。一方、支部活動活性化に向けて、校友の皆さまが“参加したい 校友会”をコンセプトとした組織改革を行い、幹事会の下に新たに5つの委員会（総務・財務、企画、広報、情報、青年・女性）を結成しました。

今後も活動をさらに魅力的なものにし、一人でも



多くの校友のご参加を賜り、特に若年層や女性の参加者を増やし、校友の輪がさらに広がって、『明治はひとつ』という思いを多くの校友と分かち合えることを祈念しております。

私の後任には、矢谷学氏にお願いすることとなりました。矢谷氏は昭和60年の校友会入会以来、数々の要職を歴任され、現在明治大学校友会本部員、福岡県支部ならびに福岡市地域支部の幹事長としてご活躍されています。人格識見ともに高く、日頃の活動はもとより、平成16年に開催された第40回全国校友福岡大会、韓国・台湾の校友との交流発展に貢献されるなど、実のリーダーとして、今日の福岡県支部ならびに福岡市地域支部の繁栄を築き上げてきた方であると認識しております。今後も支部長として、本会の隆盛のために必ずやご尽力いただけることと確信しております。

最後になりましたが、この2年間皆さまに賜りました格別のご厚情に改めて感謝申し上げますとともに、母校明治大学ならびに校友会福岡市地域支部の益々のご発展と校友の皆さまの一層のご健勝とご多幸を祈念申し上げて、退任の挨拶とさせていただきます。

# 福岡市地域支部の活動採録

## 平成24年新年交礼会

●●● Topic

### 110名の出席者が集い、思い思いに交歓

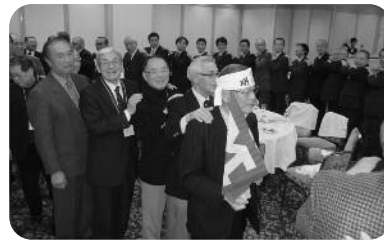
福岡市地域支部（小川弘毅支部長）は1月20日、中央区渡辺通4丁目のセントラルホテルフクオカで平成24年新年交礼会を開催した。

当日は、福岡市地域支部に所属する校友をはじめ、福岡県父母会や福岡県支部、大阪府支部、大分県支部、大分県台会和泉会、小倉地域支部、大牟田地域支部、八幡地域支部の来賓など、約110名が出席。思い思いに交歓した。

まず、小川弘毅支部長が、「去年は東日本大震災や円高・株安など、暗い1年だった。そんな中、母校が創立130周年を迎え、全国校友東京大会で盛大に記念式典が開催されたことは明るい話題となった。ある雑誌で明大卒の会社組織の中での頑張りようが紹介されていた。厳しい時代状況にあっても、明大出身者はタフで新しい道を拓く力があるとあった」などとあいさつ。

来賓紹介では、父母会会長への就任が内定していた笠原悠司氏に代わり、津島潔会長（当時）があいさつ。続いて、大分県支部の矢野博久支部長が登壇し、第49回全

国校友大分大会（2013年10月5日、於：別府ビーコンプラザ）をPR。「お湯とグルメを堪能してもらえる大会にしたい。福岡からもぜひ、大挙してお越しいただきたい」などと、呼びかけた。最後に、福岡県支部の衣笠順一支部長があいさつ。祝電披露の後、小倉地域支部の勢幸二郎支部長の音頭で乾杯。校友が和やかに歓談する中、藤田一枝代議士のあいさつや大牟田と熊本で開催されるマンドリン倶楽部演奏会のPR、新入会員紹介へと続き、昭和19年卒で御歳87歳の国武銃士校友から、平成22年卒の若手までが自己紹介を行った。



恒例となった“むかでゲーム”が会場を盛り上げた後、校歌斉唱でフィナーレ。散会后、各々が誘い合わせて二次会に向かう姿がみられた。

## 九州明柔会

●●● Topic

### 五輪の銅メダルに輝いた海老沼選手の姿も

九州在住の明大柔道部OBの集まりである九州明柔会（神永正夫会長）は5月12日、福岡市中央区の「博多料亭 稚加米」で総会を開催した。福岡市で毎年行われている全日本選抜体重別選手権に出場する選手の応援激励を兼ねた恒例行事。

同選手権は今回、ロンドン五輪代表最終選考会と位置づけられ、明大関係では海老沼匡選手（男子66<sup>kg</sup>級）と上川大樹選手（男子100<sup>kg</sup>超級）が出場。初日に行われた男子66<sup>kg</sup>級で海老沼選手が優勝し、五輪出場を確実にしたことで会場に明るい話題をもたらした。

総会では神永正夫会長がまず、開会の挨拶。その後、来賓として出席した東京都柔道連盟の福田二郎会長、明柔会の関勝治会長、奨学委員会の細川隆夫副会長、明大柔道部の猿渡拓海監督らが次々と挨拶に立った。福岡市地域支部の有志が合流したところで、大阪明柔会の大橋武彦会長が乾杯の音頭をとり懇親会へ。テーブルに並べられた料理に舌鼓を打ちつつ、和やかに歓談した。

懇親会にはバルセロナ五輪男子78<sup>kg</sup>級金メダリストで、海老沼選手が所属するパーク24柔道部の監督を務める吉田秀彦氏も同選手を伴って登場。それぞれ、「本日の優勝で、ロンドン五輪の代表入りをほぼ手中にし



た。次は五輪の金を目指して頑張りたい」(吉田監督)、「これでスタート地点に立つことができた。今度は五輪での優勝を報告できるように頑張りたい」(海老沼選手)と、述べた。



一方、毎年のように顔を見せる全柔連会長・講道館館長の上村春樹氏も登壇。「今年の五輪は1912年に嘉納師範を団長として日本が初参加したストックホルム五輪から数えて丁度100年目にあたる記念すべき大会。その大会に今度は、私が団長として参加することを感慨深く思っている。“団長”として行くが、“断腸”の思いで帰ってくることはないよう頑張りたい」などと、ユーモアを交えて抱負を語った。最後は小石原英照・市地域支部副支部長の指導で参加者全員が校歌を斉唱。岩崎勇名嘗会長の閉会の辞で散会となった。



## 国際色豊かに県支部総会を開催

福岡県支部（絹笠順一支部長）は5月26日、福岡市博多区の八仙閣本店で平成24年度総会を開催した。当日は、大学や校友会、県父母会、韓国支部、台北駐福岡経済文化弁事所、台湾支部、大分県支部からの来賓を含む県内9地域支部の校友約150人が出席。議事内容に熱心に聞き入り、総会後の懇親会では出席者同士、ざっくばらんに親睦を深めた。

矢谷学幹事長の開会挨拶で幕を開けた総会は、絹笠支部長による支部長挨拶、来賓紹介と続き、絹笠支部長を議長として議事が進行。平成23年度事業報告、24年度事業計画、23年度会計報告、同監査報告、24年度予算案報告、新役員選任等の議題が承認された。

来賓挨拶に立った政経学部の大六野耕作学部長は「4月に理事長、学長が変わり、新たな体制で動き出した。そして、グローバル化が進展していく中、いかに国際性豊かな人材を輩出していくかという課題に対し、さまざまな取り組みを行っている。この5年が勝負。明治ならではの強みを発揮するためにはどうすべきか。みなさまの情報をぜひ、いただきたい」などと、話した。続いて登壇した校友会の向殿政男会長は「大学を支える校友会も世界を視野に入れている。その一環として、世界各国で紫紺会という校友会の組織づくりに着手している。一方、校友会の効率的な運営のためのネットを活用も着々と進めて

いる」と、校友会の活動の現状を報告。また、大分県支部の矢野博久支部長は、来年10月5日に別府ビーコンプラザで開催される全国校友大分大会のPRを行った。

懇親会は開宴挨拶、来賓紹介に続いて、韓国支部の朴元錫支部長、台湾支部の頼志明副支部長、台北駐福岡経済文化弁事所の黄水益総務組長がそれぞれ、来賓挨拶。国境を越えて交流を続ける福岡県支部の国際色の豊かさを象徴するひと幕となった。県父母会の笠原悠司会長の音頭で乾杯した後、初参加の校友紹介やアトラクションなどで盛り上がった懇親会は、最後に上杉鷹雄幹事の指導による校歌斉唱、そして万歳三唱で締めくくられた。



2012年明治大学校友会福岡県支部総会

## 明福ゴルフコンペ

3月29日（木）暑くも寒くもなく風も無いという、スコアの悪さの言い訳ができないコンディションの中、明福ゴルフが伊都ゴルフ倶楽部にて開催されました。私はご近所にお住まいの鈴木先輩と善先輩をマイカーに乗せて楽しい雰囲気にて現地に到着しました。

初めてプレイしましたがとても難しいコースで（僕が下手なだけ？）136打も叩いてしまいました。（僕のミスショット連発にリラックスされたのかいつもより更にお上手で）優勝と準優勝は同組で回らせていただいた鈴木先輩、塚本先輩でした。プレイ終了後はコンペルームにて表彰式でした。入賞者には高級そうな牛肉セットが送られました。私が内心うらやましく思っていると朗報が・・・参加賞でも牛肉をいただけるというのです！お陰で平日から

ゴルフに行く私に冷やかな視線を送っていた女房の機嫌をとる事ができました。鈴木先輩の温かい心遣いに変え感動してしまったのでした。ありがとうございました！

女賀（H9商卒）



昭和62年に林凱也先輩の声掛けで始まった韓国校友会との交流は、今回で記念すべき25年目を向かえた。去る6月9日、絹笠県支部長、上杉団長をはじめ福岡県下の各地域支部から一行18名が、記念すべき韓国同窓会に参加した。

空港で結団式をして出発した私達は、予定通りソウルに到着。やや遅めのサムゲタンの昼食をとった後、ロッテホテルでの韓国同窓会に参加した。

総会では開会の後、朴支部長が挨拶され、参加者へのお礼や昨年の大学創立130周年記念式典の様子、さらに韓国からの留学生が463名と他国に比して圧倒的に多いことなどを話された。来賓の挨拶では大学側から橋口常勤理事が現在の大学の状況を話され、今回団長を努められた上杉先輩が「民族は違っても、学窓はひとつ!」と挨拶された。今回の韓国同窓会には、大阪支部から磯上雅子組織部長はじめ4人が、台湾支部から鐘幹事長が、また東大卒で中村調理製菓専門学校理事でソウルにも学校を開校している中村哲氏（後日、ご自身のブログで詳しく紹介されていた）が、校友会総会を見学に出席されるなど、校友会の輪がますます広まってきた印象を持った。また今回は韓国若手校友との交流を活発化しようと、福岡から今井葉子、姫地徳子の女性校友二人が初めて参加し、韓国若手のテーブルに積極的に出向いて懇親を図っていた。（終わったあとも、2次会まで参加したとの事）



翌日、一部帰国組みをのぞいて、我々は北朝鮮との国境近くの「自由の橋」や「烏頭山（オドゥサン）統一展望台」を見学した。首都ソウルからたった1~2時間で国境に接するので、河川沿いには有刺鉄線が張られ、数百メートル毎に監視小屋があり緊張感をひしひしと感じた。オドゥサン統一展望台では眼下



に休戦ラインのイムジン川を見た。（フォークソングの歌で発禁になったイムジン川という歌がある）

その後、早めにホテルに帰った我々は、韓国の幹事長の新築中の豪華なご自宅を見学し、その近くの料理店でめずらしいアヒル料理をご馳走になった。場所は青瓦台の後方の山手にあり、溪流のほとりのガーデン形式のレストランで、緑したたる爽やかな空気に包まれて、さっぱりした食感のアヒルの焼肉をビールやマッコリやジンロでご馳走になった。最後に上杉団長の音頭で、校歌を歌ったが、森の中の谷間に響く校歌に大変感動しましたとガイドさんも話した。このガイドさん、名前を李汶九さんといい明大先輩の女優松原智恵子さん似の美人ガイドさんだったが面白い話をされた。それは上の兄弟5人が全部女ということで、今度こそ男の子を願う父親から「汶九」という男の名前をつけられそのまま成長したところ、自分が19歳の時、どういう間違いか入隊の令状がきてあわてて女性であることの証明書を取らなければならなかった経緯を話され、（すったもんだの話が面白かった）日本では考えられない話に大変驚いた。

閑話休題、こうして25回目の韓国同窓会参加の旅は終了した。第1回目から韓国同窓会ツアーのお世話をされた上月武志先輩がご病気のため出席はされなかったものの計画を立てられ、赤壁幸哉校友が引率し、伊東吉之助先輩がいろいろと連絡調整をされるなど、皆様のご協力のおかげで楽しい韓国の旅になった。校友との旅はいつも楽しい。改めて御礼を申し上げたい。

本田 博志（S52法卒）

去る6月14日、小郡カントリー倶楽部にて、第55回駿台ゴルフコンペが開催されました。当日は県内各支部から、23名の方が参加され、梅雨の時期ではありましたが、晴天に恵まれ爽やかな雰囲気の中、プレーをすることができました。

また、当日は、小郡カントリー倶楽部主催の“ツアーステージV10カップ”も開催されており、私たちはそのコンペにもダブルエントリーをし、豪華賞品の獲得を目指し、ゴルフを楽しみました。

駿台コンペの結果は、優勝は中野正先輩（福岡市支部、36年政経卒）、準優勝は鈴木弘幸先輩（福岡市支部、S56政経卒）でした。ちなみに私は・・・駿台コンペでは、17位でしたが、ダブルペリアがうまくハマり、“ツアーステージV10カップ”で3位となりキャディーバックを頂きました（笑）。

今回、私は初めて駿台ゴルフコンペに参加しまし

た。最初はとても緊張しましたが、明治大学校友のみなさんと楽しくゴルフができて良かったです。参加をしてみて、もう少し若手や女性の参加者が増えればもっと楽しいコンペになるのではないかと思います。ゴルフは、なかなか取っ付き難いスポーツかもしれませんが、始めるととても奥が深いスポーツです。年代を問わず一緒にプレーすることで、人の輪も繋がると思います。ぜひ、ゴルフに挑戦してみてください！！

櫻木 慶子（H17政経卒）



## ■ 本の紹介 「魔境 マットグロツ」 平島征也 著

出版社 不知火書房  
お申し込み・お問い合わせ:092-781-6962

明治大学の先輩が書かれた特異な体験記を紹介したい。

この本は少年時代からジャングルの生活にあこがれていた青年が、25歳でブラジルのマットグロツ州に行き、そこで過酷な自然や猛獣と対峙するなど、壮絶なサバイバル体験をした話である。著者は、熊本県山鹿市出身の平島征也先輩（明治大学昭和36年卒）。明治大学の柔道部に在籍し、卒業後ジャングルへの夢を捨てきれず東京オリンピックの翌年ブラジルに渡られている。

そこで平島先輩を待っていたのは、昼なお暗き緑の魔境、夜の暗闇と音無しの世界、灼熱の太陽と氷点下の気候、地上も空も覆いつくす吸血毒虫、万雷吼え狂うジャングル、一瞬のうちに樹海を泥海と化す河川の大逆流、さらには大旱魃と飢餓の恐怖などだった。なかでもハラハラドキドキの凄まじかった話は、吸血虫や猛毒アリに何度も噛まれた結果、最善の方法が毒虫にたくさん刺され身体を慣らすことだと体得されたことや、猛獣それも

ジャガーや猛毒蛇スルクク（火焰蛇）との手に汗握る死闘のシーンだった。しかし、死と隣り合わせの緊張の連続を何度もぐり抜けられた原点は、強靱な肉体と生命力そして何が何でも生き抜いてやるぞと闘争心、そして忘れてならないのは大自然への畏敬の念ではなかったかと思える。残念ながら、ブラジルでも1960年代に自然開発の波が急速に押し寄せ、まわりの風景が変わっていかざるを得なかったが、そういった姿を読み進むと、寂しさを禁じえないものがあつた。

この本には、未知の世界で人が生き抜いていく貴重な要素がいっぱいちりばめられているが、しかしそれは現代社会に生きている我々にも大変重要なものでもあると思える。是非一読をお勧めしたい。

本田 博志（S52法卒）



定価：本体2,800円＋税



## 株式会社 ホンダパーツ西南

Hondaの部品・用品の卸・販売会社

取締役会長 佐々木 義宣（昭和37年文学部卒・柔道部OB）

本社 〒816-0092 福岡県福岡市博多区東那珂3-2-12

TEL 092-433-0433

営業所 福岡・北九州・大分・佐賀・香川・徳島・愛媛・高知

# ●●● 全国校友大会のご案内 ●●●

## 第48回 明治大学全国校友会静岡大会のご案内

●●● Topic

明治大学全国校友静岡大会が9月9日、静岡市駿河区池田のグランショップ（静岡県コンベンションアーツセンター）で開催される。

開催地の静岡市は本州の中央に位置し、昔の地名は駿府。265年の長きに亘って平和な時代を築き上げた、世界史的にも稀有な江戸幕藩体制の創始者である徳川家康ゆかりの地であり、家康最後の居城だった駿府城跡や墓所である久能山東照宮をはじめ、富士山の眺望が日本一と評される日本平、羽衣伝説で有名な三保の松原など、見所もいっぱい。また、海の幸、山の幸にも恵まれ、初秋の静岡の味覚を堪能することもできる。

コンセプトは「来てくりよう霊峰不二とお茶の里 駿府へ」。

当日は午前10時から明大専門部政治経済学科を卒業し、第81代内閣総理大臣を務めた村山富市氏の公開講演会、徳川宗家第18代当主の徳川恒孝氏の記念講演会。午後2時から記念式典、同5時30分から懇親会が開催される。

また、全国校友大会に先立ち、全国役員会が開催される前日8日の午後6時から静岡市駿河区南町のホテルセンチュリー静岡で前夜祭が催されるほか、全国校友大会後の10・11日にはエクスカージョン（観光）も予定されている。



## 第49回 2013年(来年)10月5日…別府にお越しください! ●●● Topic

第49回明治大学全国校友大分大会を2013年10月5日（土）別府ビーコンプラザ（別府市）に於いて開催します。この大分大会は、私どもの敬愛する村山富市校友会名誉会長ならびに長吉泉元明治大学理事長お二人のご功績に感謝する気持ちを込め、「明治はひとつ!」「九州はひとつ!」を合言葉に九州地区七県支部のご協力のもとで開催させていただきます。とくに福岡県支部におかれましては、絹笠順一福岡県支部長様の大号令のもと福岡市地域支部をはじめ九州各地域支部の皆様より力強いご支援ご協力をお約束いただいたことに、感謝いたします。

主会場「別府ビーコンプラザ」があります別府市は、温泉と海山の幸に恵まれた国際観光温泉文化都市です。別府八湯の名が示す通りさまざまな泉質のお湯を満喫していただけるとともに、関あじ、関さば、城下カレイ、ふぐのほか、地獄蒸し、とり天、だんご汁など、大分ならではの味覚もご堪能いただけます。「湯～わく! 味わく! 明治わく!」をスローガンに、遠来の校友の皆様にも心も体もゆったり癒していただける大会を目指し、精力的に準備に取り組んでいます。

また、大分大会は、これまでと違い土曜日に開催させていただきます。土曜日に式典、懇親会にご参加いただき、日曜日はノンビリと大分から福岡や熊本、宮崎など九州各地まで足を伸ばしていただきたいとの思いを込めました。また、将来の校友活動の中心的存在になっていただく若い校友の皆様にも積極的にご参加いただくには、土曜日であればお仕事

などの都合をつけ易いのではないかと考え、土曜日開催を決意しました。

記念講演会など大会内容につきましては、これから細部を詰めてまいります。あくまで九州や大分など地元を意識した企画にしたいと考えています。

本年9月9日の第48回静岡大会を皮切りに、九州七県支部、韓国支部、台湾支部それぞれの支部総会に参加させていただき、多くの皆様が大分大会にお越しいただけるようお願いさせていただきます。

どうぞ、来年10月5日には、こそって別府の地にお集まりください。大分県支部校友一同、皆様のお越しを首を長くしてお待ち申し上げます。

大分に来ちよくれ! 待ちよるけん!

明治大学校友会大分県支部 支部長 矢野 博久



福岡市地域支部では2011年8月8日、地域支部の裾野拡大のための新組織「活性化委員会」の説明会を開催。各委員会の役割と活動内容の説明があった後、各委員長および委員が任命された。コンセプトは“参加したい校友会”。何が課題で、その解決に向けて具体的にどのような取り組みをしていくのか。井手安美・活性化委員長をはじめ、各委員長に寄稿いただいた。



**5委員会が力強く機能を発揮し、“参加したい校友会”へ**

井手 安美・活性化委員長  
(昭和31工学部卒)

委員会の仕事の内容を説明するには、その誕生の経緯を話を話した方が最も手取り早い。

2008年4月の幹事会で、ここ数年の福岡市地域支部の諸行事への参加人数が減少、固定化傾向にあること、また、高齢化が著しく、会費の納入実績も低下傾向であることをグラフ化し、市在住者約3000人、住所判明者約1000人、会費納入者約250人をもっと開拓すべしとなり、この傾向は幹事会全員の認識でもあって、議論を待たずともなく、当時の支部長でありました古賀大先輩のひと言で即刻、活性化なる委員会の発足が決まったものです。

7名からなる委員会で約5ヵ月後の同年9月に答申を行いました。コンセプトを“参加したい校友会”とし、具体案には幹事会の下に若手起用の実働部隊

(5委員会)を設ける、特にIT(ネット)を活用して会員への情報発信を飛躍的に増やす、そして、若手と女性の参加に注力することとしました。幹事会での承認を経て、総務・財務、企画、広報、情報、青年・女性の各委員会を設け、委員には将来支部活動の中心となってもらう人物にお願いしました。活動予算については、特に当初予算にとらわれず柔軟な対応を取ることにしています。

今後も、5委員会が力強く機能を発揮できるよう手助けをしていきます。

そして、具体的数値目標として1月の新年交礼会、9月の地域支部総会の参加人員、特に若手、女性会員を増やし、会費の増収につなげなければなりません。

各委員会の活発な活動を通じて、校友の交流の輪が広がり、かつ、昨今の殺伐とした世相の中にあっても、当地域支部では少しでも“ゆとり”を作り出し、全国の校友会支部中、優れた支部としての地位を更にゆるぎないものにしたいと願っています。

**組織構成**

委員会名	構成メンバー	業務概要	活動事項
総務・財務委員会	委員長 女賀 信治(平9商卒) 委員 矢谷 学(昭50法卒) 佐藤 洋(昭52商卒) 宮原誠一郎(平10経営卒)	庶務事項 名簿管理 本部、他支部連絡	支部総会の開催と運営 幹事会の開催と運営 支部規約の改廃 会員名簿の管理 本部、他支部との連絡 予算書の編成と決算書の作成 会計事務
企画委員会	委員長 井手 健(昭49工卒) 委員 伊藤吉之助(昭43政経卒) 福永 英男(昭56政経卒) 矢吹 政秀(昭54農卒) 古森 則光(平17政経卒)	事業の企画、実施 親睦会の支援	マンドリン演奏会の立案と実施 公開後援会の立案と実施 新年交礼会の開催と運営 東、南、西の会の活動支援 各会員の親睦活動への支援
広報委員会	委員長 本田 博志(昭52法卒) 委員 齊藤 博文(平元文卒) 原田 浩(昭62年商卒)	支部だより	支部だよりの発行
情報委員会	委員長 石迫 弘久(平8文卒) 委員 善 敏治(昭50工卒) 湯田 紀之(平6文卒) 吉村 香織(平19経営卒) 櫻木 慶子(平17政経卒) 栗山 雅子(平13農卒)	情報発信	ITによる会員への情報発信 メールアドレス(FAX含む)の管理 ホームページの作成、更新 ホームページの管理
青年・女性委員会	委員長 今井 葉子(平4経営卒) 委員 大津山美千代(昭51文卒) 池田 隆(昭61政経卒) 高野 礼子(平元法卒) 若狭 俊哉(平3法卒) 八尋 慶太(平14商卒)	若い会員開拓 平成会	若年層会員の開拓 平成会の運営 女性会員の開拓 女性会員の相互の交流促進



## 活性化委員会 各委員長



総務・財務委員長  
女賀 信治

主な任務としましては総会の返信ハガキの管理（住所変更など）。前日まで出席者リストの作成、懇親会の景品を発送。当日はアルコールの魔力に負けず受付業務を最後まで責任を持ってやり遂げる事です。未熟な私ひとりではとても難しい仕事なので毎回お手伝いをしていただける方々にはいつも大変感謝しております。今後も努力して参りますので宜しくお願い致します。



企画委員長  
井手 健

この度、活性化委員会において、企画委員という重い任を委託されました。私事ですが数箇所の勤務地において、現地校友会に加えていただきましたが、福岡は非常に活発に活動されている支部とします。その中で今以上に活性化させる企画を計画立案せねばなりません。支部を活性化するためには若手、中年層への参加を強化しなければなりません。そうしなければ現在のよう立派な組織も高齢化してまいります。福岡には若手の「平成会」や「明志会」があります。これらの支援も重要な責務と考えます。また、活性化にはセクションを越えて集まるのもいいのでは。例えば同じ趣味を持ったメンバーで集まる。趣味の会として考えられるのは、ゴルフ、温泉巡り、ドライブ、海外旅行、山登り等を会報や、ITも活性化委員会で整備されますので参加を募ることが出来ます。魅力ある校友会とするには、先輩・後輩・異業種の垣根を越えて、いろいろなサークルのネットワークが広がればよいと思います。私と企画委員スタッフも皆様方の意見を伺いながら、いろいろな企画を検討していきたいと思っています。



広報委員長  
本田 博志

### 広報委員長として

活性化委員会の広報分野の担当として、以下の事を通じて明治大学そして校友会福岡市地域支部の知名度アップ、活力アップを図りたいと考えています。

- 1 支部だより「風のふくおか」を始め、色々な集まりやイベントなどを通じて、福岡市地域支部校友及びその関係者に、地域支部の活動を理解し協力してもらう。
- 2 福岡市地域支部の活動を、経費がかからない範囲でマスコミ等に取り上げてもらい、明治大学及び校友会の活動を一般の方々にも知らしめる働きかけをする。



情報委員長  
石迫 弘久

昨年8月に設立されました新組織委員会のひとつ、情報委員会の石迫です。

情報委員会のご紹介とこれまでの取り組みをご報告します。構成は善敏治先輩（S50・法）、湯田紀之先輩（H6・政経）、栗山雅子女史（H13・農）、櫻木慶子女史（H17・政経）、吉村香織女史（H19・経営）と小生という選りすぐりのメンバーとなっています。

これまで、福岡市地域支部のホームページの改定と新機能設置に向けて、会議とホームページ業者との打ち合わせを重ねて来ました。目玉の機能として、これまで30回と発行を重ねて来た「風のふくおか」を創刊号から見ることのできるWEB BOOK設置を予定しています。校友の皆さまに喜んでいただける情報を迅速に提供し、新しい校友の発掘の手助けが出来るよう、引き続き取り組んでいきます。また校友の皆さまからのご指導をいただければと存じております。



青年・女性委員長  
今井 葉子

青年・女性委員会は文字通り、若手や女性校友の開拓および校友会への積極的な参加を呼びかけ、ひとりでも多くの校友が集う活気ある福岡市支部の実現を目指しています。

地道なアプローチとしては、出身校別と同じ高校内での校友探し、あるいは職場内での校友探しを、広いアプローチとしては、明治大学校友会の存在そのものをもっと「福岡」にアピールしていきたいと思っています。

前者にはFacebookの活用が今後ますます鍵を握ると思われそうですが現時点では「明治大学校友会 FUKUOKA」のファンページは作ったものの、それほど活用出来てない為、情報委員会との連携も取りながら進めて行きたいと思っています。

後者はまだ思案中ではありますが、例えば女性校友を中心にピンクリボン活動に参加したり、例えばフリーマーケットを行いその収益を何処かへ寄付する等の社会貢献的な活動や、あるいは過去にも行ってきたマンドリン演奏会などの文化的な活動など、これは企画委員会と一緒に進めて行ければと思います。

また女性校友同士の交流の場として今年3月3日に試験的に「女子会」を行いました。

告知が行き届かなかった為10名での会ではありましたが大変盛り上がり、今後も3月3日イコール「女子会の日」は定例化して行くつもりです。

企画も実行もまだまだこれからというところですが、一番大切なことは校友を探し会員数を増やすことそのものではなく、「明治大学」という縁で繋がった折角の絆をより強めて世代を超えた校友同士の交流も行いながら、部外者からみても、我が校友会福岡市支部がより魅力ある会へと進化することだと思っております。目標高く頑張りたと思っています。

今この記事に読んでる皆さんからも是非多くのアイデアやご意見を頂きますようご協力を宜しくお願い致します。

## ●●● 校友からの寄稿 ●●●

### 「宮崎兄弟の生家」と「刀鍛冶工房」を訪ねる旅

昨年は辛亥革命から100周年。その立役者となった孫文が一時、日本に亡命したのを支えたのが宮崎滔天を始めとする宮崎兄弟だ。その生家には何と明治大学校歌の作詞者である児玉花外の孫文に対する檄文が残されているという。児玉花外と孫文、滔天との関わりを考察すべく、福岡市地域支部の有志が大牟田地域支部の古賀久雄支部長のナビゲートのもと、熊本県荒尾市を訪ねた。



古森 則光

(H17政経卒)

去る2/25(土)、私と大先輩方の旅は徹夜明けの集合から始まりました。私はトヨタ自動車工場への勤務が終業後、明治大学伝統の気合と根性で体を奮い立たせ、宗像市から天神郵便局裏の集合場所まで「前へ」前進。時間通りに到着したのですが既に大先輩方は全員そろっていらっしゃり緊張で眠気が吹き飛びました。

今回は内田先輩が企画をされた熊本県荒尾市へ「宮崎兄弟の生家」と「刀鍛冶工房」を訪ねる日帰り旅行です。内田先輩の入念な下見により大牟田支部長古賀先輩邸へ予定通り車3台にて11:00に到着。ここでは台湾校友との交流を記念した石造りのテーブルセットの「白龍庵」を鑑賞させていただきました。私は東アジアに根付く明治ネットワークの広さと奥様が入れてくれたお茶のおいしさに驚くばかりでした。記念撮影をした後、グリーンランドのホテル「カサブランカ」へ向け出発。チャームな帽子を被った古賀先輩ももちろんご一緒。実はこの旅のキーマンなのです。

カサブランカでは総支配人自らお出迎えというVIP待遇。実は総支配人、明治大OBの幕(まく)先輩(S61商)なのです。満点のサービスは後日ご家族で伺った女賀先輩ご家族も受けることができ、「明治っていいな」としみじみと思いました。サービス・おいしさ共に大満足のランチを平らげ、いざ次の目的地、宮崎兄弟生家へ。

宮崎兄弟生家は記念館となっており、ここでは荒尾市副市長がお出迎え。またまた明治大のOB、山下先輩です。宮崎兄弟はあの孫文を支援し辛亥革命の成功に多大な功績を残し、近年の日中両国で評価が高まっている四兄弟で



す。明治大学校歌作詞者の児玉花外先生は宮崎兄弟の最大の理解者であり、明治大学と世界の偉人とのつながりをあらためて知ることとなった記念館でした。

次に訪れたのは松永日本刀剣鍛錬所。古賀先輩のお知り合いということで、ここでも特別待遇。刀の鍛造現場の見学だけではなく、私は実際に熱々の鋼を叩く体験をさせていただきました。先輩方の優しい



(厳しい?)アドバイス(プレッシャー?)の中で、赤く熱した鋼を金槌で叩いた私でしたが…なかなか真っ直ぐに打てないまま鋼は冷えてしまい、変に曲がった和釘を作ってしまった。「鉄は熱いうちに(正しく)打て」の格言を体で学んだのでした。

荒尾での最後は石窯パン工房「どんぐり」の見学です。経営者は明治大OB、金森先輩です。私達が訪れた時は雨にも関わらずお店は大繁盛。お客さんに試食のパンと無料のコーヒーが笑顔満点の店員さんから振舞われ、お土産のパンまで金森先輩からプレゼントして頂き大感激でした。

最後の締めは、JR二日市駅前での居酒屋にて打ち上げ(当然2次会も)。旅の思い出を肴に気さくで優しい先輩方とお酒と話が進み充実の1日をかみ締めることが出来ました。こうして初めて参加させて頂いた私と大先輩方の旅は、朝は気合と根性で始まり、夜は笑いとお酒で終わったのでした。(内田先輩、本当にありがとうございました。またぜひ参加させて頂きたいです!)



# 大牟田マンドリン演奏会



姫地 徳子  
(旧姓：中村)  
(H4経営卒)

少し春めいた平成24年3月18日(日)大牟田支部主催のマンドリン演奏会に行ってきました。きっかけはfacebookでの大牟田支部の先輩

の投稿記事でした。今では多くの校友がfacebookで情報交換をしています。未登録の方は是非！交流の輪が一層広がりますよ。マンドリンと言えば、3年前福岡で開催された際、お手伝いをきっかけに校友会への参加意欲が高まった思い出の演奏会。久しぶりに行ってみようと、葉先輩をお誘いし、行ってみればたくさんの福岡や各支部からの先輩方の姿もあり、明治の繋がりを感じます。

今回はゲストなくマンドリン部の単独公演。年々人数の減少は見られるものの、始まってしまえばノリのいい音楽に自然に身体が動きます！第一部「古典の音楽」、第二部「懐かしき日本の歌」。後半、我らが先輩「阿久悠」

故人を忍んでのメドレーで絶好調の盛り上がり。曲が変わるたびに「わー、この曲も、あの曲も！」と歓声のような拍手がおこります。改めて素晴らしい作曲家だったことを知り、嬉しくなる後輩気分です。そして最後は第三部「マンドリンファンタジー」。いつも新しい演出に工夫を凝らし楽しませてくれる演奏会、また来福の際は是非足を運んであの独特の音色を楽しみたいものです。

東京在住20年。帰福から4年が過ぎようとしています。右往左往の福岡生活も3年前に出会った校友会のおかげで充実しています。



## 新入会員紹介

●●● Topic



井口 忠二 (いのぐちただし)  
平成17年 商卒  
<勤務先>  
三井不動産リアルティ九州株式会社

学生時代は体育会剣道部に所属しまして、汗を流しました。同期15人は今でも交流を持っており、生涯かけがえない友となりました。

また縁あって体育会本部という組織の委員長をさせていただきました、体育会各部の主将や主務を定期的に集めて、リーダーシップ研修等を開催して参りました。

学園祭を約5年ぶりに開催させるために学長を始め、大学側と直接交渉させていただきました。開催を実現できたことは非常に達成会の強いものでした。

学園祭と同時に催しました学生向けの体育祭(フットサル大会)では約3000人の学生に参加いただき、明治の体育に対する熱い気持ちを確かでき、嬉しく思ったことを覚えております。

三井のリハウスというブランドで事業展開をしております部署に8年ほど在籍しております。主に土地・戸建・マンションを売りたいお客様、買いたいお客様の仲介をしております。

取引金額が非常に大きいために信頼を築く難しさを常に感じながら営業しております。しかし、不動産の引渡しを終了した時には、皆様笑顔で「ありがとう」とおっしゃって頂けることが最高に嬉しくて新卒以来、三井のリハウスで営業をしております。

現在、校友会の行事には参加できておりませんので、次回はぜひ参加したいと思っております。その際は、ぜひ母校出身の皆様と楽しいお話を出来れば嬉しいです。

まだ30歳の未熟者ではございますが、校友会の新入会員として、暖かく迎え入れて頂ければ幸いです。宜しくお願いします。



岩崎 豊 (いわさき ゆたか)  
平成17年 文卒  
<勤務先>  
サンホテル鳥栖・サンホテル国分

学生時代は体同連柔道部に所属しており、最後の4年生次に何とかAチームに入ったの思い出です。また大学2年次

はウィーンに2か月間語学留学に行きました。その時は、いろんな国の人が語学学校に来ており、文化の違いなどを聞いたり、とても貴重な経験をしました。社会人としては、金融機関に5年勤めました。その後は家業を継ぐために九州に戻ってまいりました。現在はホテルの総支配人をしておりますが、家業ではありますまだまだ知らないことが多く、日々勉強の毎日です。現在、私はサンホテル鳥栖をメインにいますので、鳥栖越しの際は是非ともお寄りくださいませ。校友会に参加したきっかけは、福岡に自宅を設けましたので参加致しました。校友会活動ではなるべく多くの人と出会えればと思います。早速、校友会の平成会にも参加させていただきましたが、皆一体となり明治らしさを感じる事が出来、とても楽しかったです。今後も積極的に校友会には参加していきたいと思っておりますので、皆様何卒宜しくお願い致します。



機能だけではなく、  
快適という基準  
今からのまちに必要だと思う。  
誰もが感じる気持ちよさ  
これからもいろんなところで  
カタチにしていきたい。



いつも人が  
発想の原点。

株式会社 **松本組** 代表取締役社長 松本優三 (56年商学部卒)  
[本社] 〒812-0054 福岡市東区馬出1丁目1番19号 TEL.092-651-1031 (代)

# 新入会員大募集

福岡都市圏に在住の明大校友は実に3000人。そのうち、県支部総会等の案内に出欠の返信をいただいている校友の数は約1000人です。しかし、福岡市地域支部に関わりをもつ校友の数となると、僅か250人にしか過ぎません。校友のみならず、地域で独自に誕生し、脈々と活動が継続されている福岡市地域支部というプラットフォームをもっと、活用してみたいかでしょうか。一歩足を踏み込めば、そこは多士済々の校友が集う人材の宝庫。ビジネスにも、遊びにも、そして悩みごとにも応えることのできるひとつの組織体といっても過言ではありません。何しろ、福岡市地域支部は全国の校友組織の中でも大きな存在感をみせているのですから。同地域支部の主たる活動は、1月に開催される新年交礼会と9月に開催される地域支部総会ですが、その他にも支部だよりでお伝えしているように、さまざまな活動を行っています。それらの活動は全てオープンなものです。年会費3,000円とそれぞれの参加費が必要となりますが、地域支部の活動に参加することは、それを上回るコスト・パフォーマンスを得られるといえるでしょう。

まずは、9月29日(土)にセントラルホテルフクオカで開催される、地域支部総会にご参加してみませんか？

## 支部だより

# 編集スタッフ大募集

福岡市地域支部では毎年2回、明治大学校友会福岡市地域支部だより「風のふくおか」を発行し、福岡市都市圏に在住の校友約1000人に発送しています。この号で30号。15年の長きに亘り、編集委員に名を連ねてきた校友の手で発行が続けられてきました。

編集活動はオープンに行っています。より多彩で、充実した紙面にするために、今回、編集スタッフを大募集することにしました。

編集会議への出席、紙面の企画提案、取材、原稿の依頼や取り纏め、広告協賛のお願い、印刷会社への入稿作業など、出来ることを出来る範囲でお手伝いしていただきたいと思っています。残念ながら、手弁当での活動となりますが、ただ単に校友会の各種行事に参加するだけでは得られない情報や人脈、さらには充実感といった貴重な“財産”を得られること必定了。多くの校友のご応募をお待ちしています(明大校友であれば、エニ、パティ、OK)。

ご応募・お問い合わせは  
<http://www.meidai-fukuoka.jp/>もしくは、092-631-3336(三栄印刷㈱)まで。

## 平成24年度 明治大学校友会福岡市地域支部総会・懇親会のご案内

福岡市地域支部は9月29日(土)、福岡市中央区のセントラルホテルフクオカで平成24年度の総会・懇親会を開催する。

当日は福岡市地域支部に所属する校友をはじめ、県父母会や県内各地域支部からの来賓の出席が予定されている。

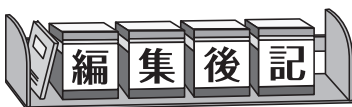
総会では平成23年度会計報告ならびに監査報告、24年度予算案報告、23年度の各種活動報告などが予定されている。また、6月22日に同ホテルで開催された幹事会で承認された小川弘毅支部長の退任と矢谷学幹事長の新支部長就任が認められる予定。

懇親会では校友の親睦と交流を促すアトラクションも計画されている。

詳細は同封の案内チラシにて。

出席・欠席を問わず、同封のハガキでご返信を。

なお、周りにご案内が届いていないという校友がいらっしゃれば、お誘いの上、ご出席いただけますようお願いいたします。



### 退任のご挨拶

この度、支部だより「風のふくおか」の編集長を、この30号より斉藤博文校友にバトンタッチさせていただきました。斉藤校友はフリーライターとしての経験もあり、皆様のご期待に添う紙面作りをするものと期待しています。

平成17年の第16号から29号までの間、素人編集長にもかかわらず多くの校友の皆様へ声をかけていただき、また記事の提供を頂きました。厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

本田博志 (S52法卒)

編集委員長	齊藤 博文 (平元文)
委員	佐野 貞和 (昭59工)
”	今井 葉子 (平4営)
”	中村 徳子 (平4営)
”	石迫 弘久 (平8文)
”	女賀 信治 (平9商)
校友会事務局	矢谷 学 (昭50法)
”	高野 礼子 (平元法)
制作・印刷	三栄印刷株式会社

